



# 芳賀町 議会だより

No.133

平成22年8月18日発行



〈芳賀の夏 夜空を彩るロマン花火〉

平成21年開催芳賀町観光写真コンテスト入賞作品

## 6月議会定例会

定例会概要・報告・条例改正	2
平成22年度補正予算・議員発議・議会閉会中の事務調査	3
一般質問	4~8
臨時議会	9
芳賀町議員会活動報告	10
聲くこえ>私のいいたいこと	11
議会日誌・行政視察(埼玉県川島町)・編集室	12

□編集／芳賀町議会広報常任委員会

□発行／芳賀町議会  
〒321-3392 栃木県芳賀郡芳賀町大字祖母井1020  
電話 028(677)6023 FAX 028(677)6057  
<http://www.town.haga.tochigi.jp/gikai/index.html>



<22年度への線越事業で整備される「光の道整備事業」>

平成23年度から議会定例会を「芳賀チャンネル」で放送するため、議場の設備整備を進めています。

## 補正予算など6議案を可決

### 6月定例会の概要

平成22年第5回議会定例会は、6月1日から4日までの4日の会期で開かれました。

初日の6月1日は、町長から提出された議案などの説明のあと、発議案件についての採決が行われました。

一般質問は3日に行われ、5名の議員が登壇し、町の諸施策について執行部の方針、姿勢への質問を行いました。

最終日の4日には報告、議案への質疑を行い採決の結果、全議案を原案のとおり可決。最後に、総務・教育民生・産業建設の各常任委員長から申し出のあった、閉会中の継続調査についての採決を行い、6月議会を閉会しました。

## へ報 告

□線越明許費線越計算書

○平成21年度町一般会計

**内容** 地方自治法に基づく報告で、防災情報通信設備整備事業、光の道整備事業、地理情報システム構築事業、子ども手当給付事業、油内・代町線道路舗装代替工事、総合運動公園トイレ工事について、平成22年度に事業費の一部繰り越して事業を行うもので、3月議会定例会で線越明許費の議決を行ったものです。

(質疑なし)

## 告

○平成21年度芳賀町公共下水道事業特別会計

**内容** 地方自治法に基づく報告で、公共下水道管渠付設工事を平成22年度に一部繰り越して事業を行うもので、第4回臨時会で線越明許費の議決を行ったものです。

○平成21年度芳賀町祖母井南部

土地区画整理事業特別会計

**内容** 祖母井南部土地区画整理移転補償事業費を平成22年度に一部繰り越して事業を行うもので、3月議会定例会で線越明許費の議決を行ったものです。

(質疑なし)

○財団法人芳賀町農業公社の経営状況説明

(質疑なし)

○芳賀町ロマン開発株式会社の経営状況説明

(石川 保議員 質疑)

## へ条 例 改 正

□芳賀町職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正

□芳賀町職員の育児休業等に関する条例の一部改正

**内容** 法律の一部改正に伴い、職員の間外勤務、育児休業などについて改正するものです。

(質疑・討論なし・原案可決)

□芳賀町地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正

**内容** 芳賀高跡地を住宅地として活用し、良好な住環境をつくるため、地区計画区域に赤坂地区を加え、建築物の用途、敷地面積の最低限度、壁面の位置などを定めるものです。

(質疑・討論なし・原案可決)



## 〈補正予算〉

## 〈議員発議〉

□平成22年度一般会計

内容 総額に、2,809万1千円を追加し、予算総額を70億4,809万1千円とするものです。主な歳出は、農道整備事業、橋梁点検業務委託料、町民会館スポットライト修繕工事費などです。

（見目 匡議員質疑・討論なし・原案可決）

□芳賀町議会会議規則の一部改正

内容

町議場に一般質問者席が設置されたことに伴い、質問の方法について会議規則の改正を行い、円滑な議会運営を行うためのものです。

（質疑・討論なし・原案可決）

（見目 匡議員質疑・討論なし・原案可決）

□平成22年度芳賀町国民健康保険特別会計

内容 総額に115万5千円を追加し、予算総額を18億4,615万5千円とするものです。歳出は、倒産や解雇などによる離職者の国保税軽減措置を行うためのシステム改修の費用です。

（質疑・討論なし・原案可決）

□平成22年度芳賀町老人保健特別会計

内容 総額に86万円を追加し、総予算額を306万円とするものです。歳出は、概算交付されている老人保健医療費交付金などの精算によるものです。

（質疑・討論なし・原案可決）

□農業農村整備事業に係る予算措置を求める意見書の提出

内容 農業用水利施設の更新整備や、食料自給率向上のための農用地の利用集積、圃場整備などを進める予算措置を、国と県に求めるものです。

（質疑・討論なし・原案可決）

□永住外国人等へ地方参政権を付与する法案に反対する意見書の提出

内容 日本の安全保障と地域社会への影響が懸念されるため、法案に反対する意見書を国に提出するものです。

（質疑・討論なし・賛成者多数・原案可決）

## 議会閉会中の所管事務調査



総務、教育民生、産業建設の各常任委員会は、最終日の4日に所管事務調査のテーマを議長に申し出を行い、採決の結果許可されました。

各常任委員会は、閉会中に次のテーマについて調査研究を行い、12月議会定例会までに調査結果を報告します。

常任委員会名	調査の内容	調査の目的
総務常任委員会	・クローズド型最終処分場について (焼却残さや不燃物の残さを埋め立てる施設で、屋根や壁で覆われているため、焼却灰やにおいの飛散などがなく、生活環境に配慮した施設です)	町内に芳賀地区(広域)の最終処分場建設計画があることから、処理方式としての安全性や埋め立て完了後の用地活用などについて調査研究を行います。
教育民生常任委員会	・放課後こども教室について ・地域密着型介護老人福祉施設について (町では、「地域密着型介護老人福祉施設」を平成23年度に、受け入れ法人に対して土地の提供などを行うことにより、整備する予定です)	当町では既に学童保育が実施されていますが、全ての児童を対象に、総合的な放課後対策を行う「放課後こども教室」の現状について、また、建設予定の「地域密着型介護老人福祉施設」について調査研究を行います。
産業建設常任委員会	・耕作放棄地(遊休農地)の解消について (各地で行政、企業や組織が、耕作放棄地の活用や解消するための取り組みが行われています)	農業経営者の高齢化に伴い、増加しつつある耕作放棄地について、農村環境の保全の観点からも、行政や生産組織などの有効な活動について調査研究を行います。

# 公共施設に太陽光発電を！

## 町一23年度に太陽光発電と照明のLED化を



石川 保 議員

**問**

政府は、温室効果ガスを1990年比、25%削減目標とすると発表、その政策に基づき、町も自然エネルギー、新エネルギー利用の加速的推進を図るべきではありませんか。

グリーンニューデール

事業を活用して

**答**

町長 平成23年度に、とちぎグリーンニューデール事業を活用し、役場庁舎へ太陽光発電を、また、照明のLED化を計画しています。

**問**

少子高齢化に伴うバランスのとれた「まちづくり」人口構成は、差し迫った課題です。その解決策を伺います。

芳賀町の人口1万8千人の目標と理念は？

住居機能の

充実を図ります

**答**

町長 市街化区域では祖母井地区での都市基盤整備事業、市街化調整区域では都市計画法の区域指定の活用などにより住居機能の充実を図ります。芳賀高校跡地の整備をスタート



駐車場に太陽光発電を

に進めていきます。

**問**

テクノポリス圏内の住環境開発は、工業団地に勤務する若者にとって魅力的である。将来の人口構成からしても、積極的に開発すべきではないでしょうか。

**答**

町長 工業団地に勤めている方に、芳賀町独自の特区などを作って芳賀町の魅力というものを発信し、住んでもらえる環境を整えていきます。

いちごハウスだけでなく農業全般の活性化を！

**問**

本年度新規事業にいちごハウスに対する補助事業がありますが、多岐にわたる農産物に対する支援策を伺います。

要望があれば支援を

**答**

町長 いちごは基幹作物として優位な施設野菜であり、今後も支援していきたい。また、他の施設野菜などについても調査を行って、支援を行っていききたいと考えています。

**問**

政府の支援策、地方自治体としての支援策を同時並行的に行い、町としての農業のあり方、理念をしっかりと示すことにより、今後の農業所得アップにつながる施策を実行できるよう、町長の強いリーダーシップが必要なのではないでしょうか。

**答**

町長 農家の皆さんには、農業に魅力を感じて、天職として行っていたいただきたい。そこに町が支援を行っていききたいと思っています。



園芸用ビニールハウス施設

# 地域農業の振興策は？

## 町—新規就農後継者に奨励金の交付と地域リーダーの育成を



### 大島 浩 議員

きたいと考えます。

を地域リーダーとして育ててい

てのフレッシュアカデミー塾生

奨励金を交付し、新規事業とし

す。新規就農後継者に3万円の

奨励金を交付し、新規事業とし

ている農家は後継者が育っていま

す。また、経営がしつかりして

す。新規就農後継者が育っていま

す。また、経営がしつかりして

す。新規就農後継者が育っていま

#### 答

町長 新しい農政は、今

年度からスタートした戸別

補償モデル事業、水田利活用自

給率向上事業が柱となっていま

す。芳賀町水田農業推進協議会

が中心になり、関係機関の協力

を得て推進しています。現在、

専門農家は150人いますが、新規

参入農業者とともに町の農業を

支え、発展してほしいと考えま

す。また、経営がしつかりして

いる農家は後継者が育っていま

す。新規就農後継者に3万円の

奨励金を交付し、新規事業とし

てのフレッシュアカデミー塾生

を地域リーダーとして育ててい

きたいと考えます。

#### 問

町の農業について質問い

たします。平成22年度経営

方針の中で、重点施策4項目に

「農業振興」があります。戸別

補償モデル事業、水田利活用自

給率向上事業、専門農家はかな

りの不安を感じています。経営

者は高齢者が多く、後継者が少

ない。今後地域の農業をどのよ

うに考えているのか伺います。

#### 専門、新規参入者を

#### 中心に

#### 問

現在、認定農業者の数は、

271名で、その内、個人が266

名です。今では再認定を申請す

る農家が少なくなり、地域の農

業従事者が手を携えていかなけ

ればと考えています。そのよう

な状況の中で、「集落営農」につ

いてどのように考えるか。今で

は国の指導、推進はなくなり、

政権が変わったために「認定農

業者制度」さえ欠けてきました。

この大きな変遷をどのように考

えるか伺います。

#### 答

町長 集落営農について

は、質問の中で「ゆい（II

集落営農）」というお話がありま

したが、これは非常に大変なこ

とだと思っています。しかし、

芳賀町においては、推進しても

なかなかまとまらないのが現実

です。



(水田)農業は町の基幹産業

きたいと考えます。

を地域リーダーとして育ててい

てのフレッシュアカデミー塾生

奨励金を交付し、新規事業とし

す。新規就農後継者に3万円の

奨励金を交付し、新規事業とし

ている農家は後継者が育っていま

す。また、経営がしつかりして

す。新規就農後継者が育っていま

す。また、経営がしつかりして

す。新規就農後継者が育っていま

#### 答

農政課長 集落営農の考え方と

して、農地を集約して個人が栽

培していく、環境などにかかる

部分は集落でやっていく。そん

な方法が芳賀町には合っている

のではと考えます。

が、その内容をお聞かせくださ

い。

が、その内容をお聞かせくださ

い。

が、その内容をお聞かせくださ

い。

が、その内容をお聞かせくださ

が、その内容をお聞かせくださ

#### 問

現在宮崎県で口蹄疫が発

生しています。芳賀町では、

予備費対応で消毒用消石灰配布

をいただき、ありがたく思っ

ています。

万が一芳賀町に口蹄疫が発生

したらどのような対策がとれる

か伺います。

発生したら大変なことに

なります。酪農、養豚農家

の方には予防についてしつかり

とお願ひしたい。もし発生した

らということですが、国、県の

指導の下、適切に対応します。

指導の下、適切に対応します。

指導の下、適切に対応します。

指導の下、適切に対応します。

指導の下、適切に対応します。



口蹄疫予防のため、既に配布された消石灰で消毒された町内の牛舎





# 町南部地区への直売所設置で農業の振興を

## 町一マネジメントの検証結果により振興計画の中で検討

小林 一男 議員

**問**

今年度、重点施策とされた農業の振興の中で、友遊はがの売り上げが減少していると聞いています。リニューアルの必要が議論されて久しい今日、農家にとって本当に必要な施策とは作物が確実に販売できる環境であると考えます。国道123号バイパス工事が進む中、南部地区にも小規模な直売所を設置する考えはないか伺います。

**答**

町長 温泉も、友遊はがも売り上げが減少しています。中央を横切る町道を廃道としていますので、柵を取り払い、一体的に整備できないかと考えています。  
また、道の駅駅長に専門員を迎え入れ、しっかりとマネジメントを持って運営していくことが大切と思っています。

### 対象、意図、効果を検証

**答**

町長 友遊はが直売所は平成13年度開設以来年々売り上げを伸ばし、21年度で2億9千3百万円となり、部会員数も250名ほどになりました。しかし、午後になると品不足になることがあり、今後の課題です。南部地区小規模直売所については現時点では考えていません。ただし、対象、意図、効果等のマネジメントが適正であれば、後期計画の中で検討します。

**問**

町政懇談会の中で、リニューアルが必要だと聞きました。どのような改良改修か伺います。

**問**

いちごハウス設置事業について、40aが上限となっていますが、産地としては若い大規模農家をどう育てるかに、対策を打つべきと思えます。どうお考えですか？



新鮮な野菜が並ぶ友遊はが直売所

**答**

町長 40aとしたのは、それ以上の農家はある程度の所得が確保されるという考えです。1/3補助は、道の駅のパイプハウスの補助と同様でしたが、若い担い手には別枠でも良いと考えています。担当課とも協議の上、9月頃を目安に見直しを考えます。

**問**

40aの上限を超えたいちご農家に対して、他の水田を流動化により他の水稻農家に貸し付けることで補助金を交付するような考えはありませんか？

**答**

町長 一つの方法です。で検討の中に入れます。

**問**

いちご祭りについて、どのようなことを考えているか伺います。

**答**

町長 梨と同様、町内外の消費者に良質の芳賀町産いちごをアピールし、イメージアップと消費拡大を図ります。

**問**

いちご祭りの予算は21万4千円ですが、今後拡大し、主な消費地である東京で開催す

**答**

町長 栽培農家がどう考えるかですので、いちご部会ともよく相談します。

**問**

米粉消費拡大普及事業はどのようなものですか？

**答**

町長 本年度から始まった水田活用自給力向上事業の中で、米粉用米は戦略作物として取り入れられ、作付けを奨励しているところです。麦の代わりに米粉を使用し、焼き菓子などを製造販売した場合に、小麦と米粉の価格の差額を補助し、消費拡大を図るものです。

**問**

学校給食に米粉を提供し、大きな消費拡大につながることはできないか伺います。

**答**

こども育成課長 米粉パンは年数回導入した経過はありますが、小麦パンに比べて5割高くなります。また、供給体制が未整備であるなどの制約があり、進まないのが現状です。麺も供給が整い、価格も安価となれば積極的に利用できるかと考えます。

# がんセンターの個別検診化は受診率の低下を招かないか！

## 町一地域での総合検診受診を推奨していきます



### 増淵さつき 議員

**問**

町では、健康で元気あふれる町『はが』を築くため、「芳賀町健康づくり推進計画」により、さまざまな健康づくり運動を展開しています。

計画の基本方針では、病気の早期発見、早期治療となる二次予防を進めるとともに、日常生活習慣を改善して発病を予防する、一次予防に重点を置いた対策を推進することになっています。

本年度は「がんセンター検診」が集団検診から個別検診に変わりました。死亡原因の上位を占めるがん対策の後退ではないかと危惧し、その理由を伺います。

県モデル事業が  
廃止になったため

**答**

町長 栃木県がんセンター検診は、当初検診モデル事業として、昭和63年から平成10年までの10年間で計画され、平成12年4月以降は、検診効果の向上及び新たな検診方法（ヘリカルCT検査やマンモグラフィ検査）の有効性を評価する新モデル検診事業を10年間継続実施してきました。今回の変更は、県のモデル事業が廃止さ

れ、施設検診となることによるものです。

**問**

がんセンター検診の個人負担額が大幅に上がった理由は何ですか？

**答**

町長 県のモデル事業廃止により、県からの補助がなくなったことに加え、検診報酬の改定により負担額が増えたためです。

**問**

個人負担額の激増緩和についてどう考えますか？

**答**

町長 町でも健康づくりについては、十分力を入れていっていますので、全体的なバランスを見て検討していきます。

**問**

個人負担額の大幅な増額のため、がんセンター検診か



栃木県立がんセンター

ら総合検診への変更が増える予想されますが、その対応策は？

**答**

町長 本年の総合検診は、前年度より1日増やし、18日間を計画しています。9月、11月は予約を取りやすい状況にありますのでご利用いただきたいと思います。

**問**

総合検診を受けやすい環境づくりとして、例えば地域体育館での寒さ対策はどうしていますか？

**答**

健康福祉課長 暖房器具の設置など要望があれば、今後検討していきます。

**問**

がん検診受診率の向上策は？

**答**

町長 広報紙による周知のほか、節目検診として区切りの年齢時に、個別通知を出して関心を高めたり、子宮がん、乳がんに対しても区切りでの年齢時に無料クーポン券を配布して、受診勧奨に努めていきます。

**問**

がんセンターでの個別検診化により、結果として受

診率が下がってしまった場合、町負担額を増やす考えはありますか？

**答**

町長 現時点では考えていませんが、そのような場合検討します。

**問**

特定健診と特定保健指導計画の実施状況を伺います。

**答**

町長 平成20年度における特定健診の受診者は1,321人、率にして38.4%で県内市町第3位です。さらに同年度の特定保健指導実施率は42.5%で、県平均の19.6%を大きく上回るものです。

**問**

受診率目標値と目標値達成への具体的方策は？

**答**

町長 計画では、平成20年度は41%、24年度は65%の目標です。具体的な方策として広報でのキャンペーンや年度途中における未受診者への受診勧奨、医師会との連携、地域人材の活用などが考えられますが、決め手となるのは、本人の意識によるもの大きいと思われま



大根田和子 議員

農作業事故防止 町の取り組みは？

町一安心して働ける環境を整えます

**問**

4月28日は、ILOが定めた労働安全衛生世界デー。1914年にカナダで労働者災害補償法ができた記念日です。2009年の労働災害による

死亡者数は、1,075人、その中で農作業事故によるものは370人あまりです。それが、40年も続いています。多大な犠牲を払っている農作業事故、防止に對する町の取り組みについて伺います。

毎年テーマを決めて

農作業安全講習会を開催

**答**

町長 町農業公社、町農業振興会が中心となって、農業機械による農作業などの事故防止のため毎年テーマを決めて、農作業安全講習会を開催しています。今後は、安全チェックシートの配布、ヒヤリ・ハット体験を尋ねるアンケート調査を全農家対象に実施し、結果を対策に反映させます。特に高齢者の事故が多いので、担い手だけでなく、家族を巻き込んで、農作業での事故ゼロを目指して推進していきます。万一の事故のときの補償となる労働災害保険の加入を含め、安心して働

る環境を整えます。

**問**

40年間も対策をとっていなかったのはどうしてか？

**答**

町長 事故については、あまり関心がなかったというところで、町にも資料が存在しない。発生した経過もわからない。遅れたかなと思います。

**問**

町長も認めた遅れたことに対して、農家にささいな事故も報告する義務付けは？

**答**

町長 確かに対策が遅れたというところで、そのことについては十分に対処していきたいと思っています。報告を義務付けするかは、まだわかりませんが、事故の内容については把握したいと思っています。

受動喫煙防止対策について

**問**

全国初の受動喫煙防止条例が、4月神奈川県で施行されました。厚生労働省は2月、公共的な空間は原則全面禁煙であるべきとする方向性を打ち出して、都道府県などに通知をし

ました。芳賀町での受動喫煙防止条例、禁煙地域での罰則などを考えているのか伺います。

4月1日 条例を施行予定

**答**

町長 町では、平成23年4月1日施行を目標に、町で管理する施設を対象に条例制定作業を進めています。町内の小中学校は、5月1日から校舎特別教室、体育館などの建物は禁煙とし、学校敷地については、原則として禁煙とする指導を行いました。芳賀町は、公共施設のみを対象とした条例を制定する予定です。喫煙者の良識にゆだねたいと思いますので、刑罰

も過料も考えていません。

**問**

職場における喫煙者対策のガイドライン(※)はご存知ですか？

**答**

町長 読んだことがありません。事業場において、関係者が講じるべき原則的な措置を示したもので、事業者はガイドラインに沿いつつ、事業場の実態に即して喫煙対策に積極的に取り組むことが望ましいとの内容です。

〈約束〉は栃木県が出版した絵本で、担当医の神山由香里さんが受動喫煙について書いたものです。ぜひ読んでください



発行／栃木県(2010年3月)  
製作／栃木県保健福祉部健康増進課  
編集／栃木県保健福祉部健康増進課



# 平成22年第4回・第6回 議会臨時会

第4回、第6回町議会臨時会は、地方自治法の定め（町長）により招集され、専決処分の承認や財産の取得、事業の執行にかかる補正予算などが議決されました。

平成22年第4回議会臨時会（5月10日招集）

□専決処分の承認を求めることについて

- 芳賀町条例の一部改正
- 芳賀町国民健康保険条例の一部改正
- 芳賀町都市計画税条例の一部改正
- 平成21年度芳賀町公共下水道事業特別会補正予算

□内容 地方税法などの一部改正によるもので、議会招集の余裕がなかったために、専決処分したものです。

（質疑・討論なし・原案可決）

□財産の取得について（消防ポンプ車購入）

□内容 地方自治法の規定により、財産の取得について議決を求めるものです。

質疑 小林 一男議員

石川 保議員

（討論なし・原案可決）



昨年度更新されたポンプ車

平成22年第6回議会臨時会（7月7日招集）

□芳賀町一般会計補正予算（第2）

□内容 総額に4億8、160万7千円を追加し、予算総額を75億2、969万8千円とするものです。

主な支出は次のとおりです。

- ① ひばりが丘公園野球場北側駐車場整備費  
（土地購入費）
- ② 光の道整備事業  
（支線工事費、回線終端装置設置費補助金）
- ③ 法人町民税過納付還付金、加算金
- ④ 子宮頸がん予防接種費  
（中学2年生、3年生対象）
- ⑤ 新エネルギービジョン策定費
- ⑥ 里山林づくり整備事業費
- ⑦ ロマンの湯第2源泉改修工事費
- ⑧ ひばりが丘公園野球場北側駐車場整備費  
（造成費）

質疑 増渕さつき議員

小林 信二議員

杉田貞一郎議員

小林 一男議員

小林 俊夫議員

岩村 治雄議員

（討論なし・原案可決）



33台の駐車場を整備するひばりが丘公園野球場北側

芳賀町議会(見目 匡会長)では、町政全般に関し、調査研究活動を原則自費により行っています。今回報告するほかにも、議員会の計画に基づいて議会運営と議員資質の向上を図っていきます。

### No.1 子宮頸がん予防講演会

平成22年度事業として今話題の「子宮頸がん予防」講演会を役場大会議室で開催しました。議会では7月7日に、9ページ掲載の第6回議会臨時会で、ワクチン接種補助金の補正予算について議決を行いました。

これにより町は中学2年生、3年生について年3回のワクチン接種を行い、効果的な予防事業を行っていきます。

**開催** 6月3日(木)

**講師** 芳賀赤十字病院産婦人科部長  
大口昭英氏

**対象** 芳賀町議会議員・町職員  
小中学校教員

約50名の皆さんが知識を深めました。



### No.2

### 広域一般廃棄物最終処分場行政視察

福島県 田村広域一般廃棄物最終処分場

芳賀郡内1市4町で構成する「芳賀地区広域行政事務組合」では、平成28年度に埋め立てを開始予定として、町内に一般廃棄物最終処分場を建設予定です。

芳賀町議会では、計画されている、埋め立て地を屋根や壁で覆った「クローズド型処分場」の安全性を検証するため、7月27日に福島県田村広域行政組合最終処分場において行政視察を行いました。



＜田村広域行政組合＞

一般廃棄物最終処分場(覆蓋型埋め立て処分)の特徴

- ①屋根や壁に覆われ、雨水の浸入と廃棄物飛散がない。
- ②埋め立ては、コンクリートと遮水シートで漏水防止。
- ③ごみの安定化のために人工的に散水を実施。
- ④処理水(生活雑排水を含め)は浄化し、再利用する。  
(外部に排出しない)



### 聴く耳を持つ

人の話をきく時、そのきき方によって解釈の仕方が大きく変わってきます。「聞く」は、先入観や聞く人の都合の良いことだけが通れる門「もん」を構え、その門を通過した話しか耳に入らないため、聞き逃してしまったり、自分に都合の良いことや、興味のあることに背びれ、尾ひれがついた話になりがちです。

「聴く」は、十四方(じゅうしほう)に心を開き、大きな耳を持って人の話を聴くことです。門構えではなく、心の扉を張り巡らせませす。そうすることで大きな気持ちで人の話を聴く事ができ、蔽識も自然と増してきます。

私もこの聴く耳を持つことの大変さを痛感していますが、ぜひ議員の皆さんにもこの聴く耳をさらに広げていただき、少数意見や雑談の中での愚痴などから、声なき声を拾い上げてください。なかなか改まった会合での質疑応答では出てこない意見を、正に聲として取り上げ、議員活動に生かしていただければ幸いです。



高橋 一彦さん  
(西高橋)

### 公園の増設と有効活用を



森島 規仁さん  
(ハツ木)

私は、芳賀町で育って27年になります。先日第一子が誕生し、この芳賀町でわが子の成長を見守ることに期待と不安があります。生まれ育った自然豊かな環境で娘を育てられる反面、親となつてみて子育て施設の整備不足を感じるのです。特に子どもを遊ばせる場所が極端に少ないと思います。私の幼少時代は、ザリガニ釣りやかくれんぼなど自然の中で育った記憶があります。しかし、近年は、ゲームのポータブル化により、多くの場所で子どもが必死に画面を覗き込む光景を目の当たりにします。一概には言えませんが、体力、運動能力の低下や、他人とのコミュニケーション力の低下による社会性の欠如に繋がると指摘されています。せつかくの自然の恩恵もこのような状況では活きてきません。公園は、多面的な機能を有し、子どもを健全に育て、地域のコミュニティを育むことで、まちを形作ることができると考えます。自然環境や、生態系に恵まれた立地条件を最大限に利用し、地域独自の公園を造り、芳賀町らしさを誇れる、また、子どもたちの笑顔があふれるまちづくりをお願いします。

### 自治会活動に参加しませんか？

6月20日稲毛田自治会主催の「ふれあいハイキング」が催され、夫婦で参加しました。

町有バスを利用し、40名以上の参加者があり、盛況でした。行き先は鹿沼市(旧粟野町)にある「前日光県立自然公園・古峯神社」方面で、私は始めていくところでした。ロッジから出発し、展望台に至るハイキングコースの眼下には広大な放牧場が広がり、育成牛たちがのんびりと草を食っていました。

今回で3回目の参加となり、顔なじみの方もできて、企画いただいた役員の皆様には感謝いたします。

さて、最近「自治会離れ」などのことを耳にすることがありますが、「安心、安全、住みよい街づくり」を行うには、自治会活動は重要な位置づけになってくると思います。私も「地域づくり委員会」の活動を通し、まずは身近な問題、困りごとなどを提言することにより、自治会が行動し、町当局に迅速に対応していただいたことを経験しています。「小さな町だからこそ我々の声が届く」のために、まずは自治会活動に参加することから始めませんか。



関本 陸英さん  
(稲毛田)



# 議会日誌

平成22年

5月

- 6日 ・ 広報常任委員会
- 10日 ・ 第4回芳賀町議会臨時会
- 12日 ・ 郡市社会教育運営協議会
- 14日 ・ 町老人クラブ連合会総会
- 15日 ・ 栃木県植樹祭
- 21日 ・ 芳賀町工業団地連絡協議会総会  
・ 町PTA協議会総会
- 22日 ・ 町女性団体連絡協議会総会
- 25日 ・ 議会運営委員会
- 26日 ・ 町政懇談会  
・ 自治会連合会総会
- 29日 ・ 地域公民館連絡協議会
- 30日 ・ シルバー人材センター総会
- 31日 ・ 町観光協会総会

6月

- 1日 ・ 第5回芳賀町議会定例会
- ～4日
- 1日 ・ 全員協議会、各常任委員会
- 10日 ・ 都市計画審議会
- 18日 ・ 郡議長会定例会
- 20日 ・ 消防夏季点検
- 24日 ・ 中部環境衛生事務組合議会臨時会  
・ 芳賀中部上水道企業団議会臨時会
- 29日 ・ 広域行政事務組合臨時会

7月

- 4日 ・ 消防協会芳賀支部操法大会
- 6日 ・ 埼玉県川島町行政視察来庁
- 7日 ・ 議会全員協議会  
・ 第6回芳賀町議会臨時会
- 12日 ・ 国道123号線改修促進同盟会総会
- 20日 ・ 主要地方道宇都宮茂木線建設期成同盟会総会
- 23日 ・ 県議会、市町議会議長懇談会
- 27日 ・ 芳賀町議員会行政視察（福島県）
- 29日 ・ 第7回芳賀町議会臨時会



## 行政視察

## 埼玉県川島町議会が来庁

### デマンド交通・芳賀工業団地について行政視察

災害時に本田航空(株)のヘリコプターを利用して相互に救援活動を行う応援協定(災害時における相互応援に関する協定)を当町と締結している、埼玉県川島町の議会議員7名の皆さんが、7月6日(火)に行政視察に訪れました。

川島町は、人口約22,450人で、当町と同様、町内に鉄道の駅がなく、工業団地への企業誘致を行っていることから、「デマンド交通」と「優良企業の誘致」について町担当者からの説明を行いました。多くの質疑応答の後、応援協定についての意見交換を行い、現地視察も含め理解を深めて帰町されました。



〈次回の定例会開催予定日は9月2日(木)です。〉

## みんなで議会を傍聴しましょう

## 編集室

芳賀町の基幹産業である水稲もすくすく育ち、皆様の将来を暗示するように感じています。しかし、世界に目を向けると、酷暑や集中豪雨など、異常気象が発生しており、益々環境問題の重要性を考えなければと思っています。

さて、政治の世界も、参議院議員選挙が行われ、国民の民意が示されましたが、政治に携わる一人として、ことばの重要性、政策の実行性などを改めて考えさせられる選挙になりました。耳障りの良い話や、住民が喜ぶ話などをいくら並べても、実行力が伴わないといけないとつくづく思い知らされました。

私たち、地方議員も、何が町民にとって一番必要かを考え、町執行部と議論を重ね、ことばや行動力の重要性を今一度良く考えた上で、議員活動を行うことが重要だと痛感しています。(議会広報常任委員会)

委員 杉田 貞一郎記